

町内小・中学校及び幼稚園の耐震化の状況・学校別一覧

学校名	種別	建築年月	構造	階数	面積 (㎡)	区分	第2次診断			改修		改修後		改修予定	備 考
							年度	Is値	q値	年度	Is値	q値			
宮前小学校	校舎棟A	昭和53年5月	RC	3	1,008	旧基準	改修済			20	0.78	0.78		改装済	
	校舎棟B	昭和53年3月	RC	3	2,480	旧基準	改修済			20	0.79	0.80		改装済	
	校舎棟C	昭和57年2月	RC	3	286	新基準	—	—	—	—	—	—		改装済	
	体育館	昭和48年1月	S	1	766	旧基準	改修済			21	1.06	1.93			
福田小学校	校舎棟A	昭和49年4月	RC	3	2,198	旧基準	改修済			22	0.82			改装済	
	校舎棟B	昭和54年2月	RC	3	255	旧基準	改修済			22	0.82			改装済	
	体育館	昭和58年3月	S	1	912	新基準	—	—	—	—	—	—			
月の輪小学校	校舎棟	平成22年2月	RC	3	6,956	新基準	平成21年度 新築								
	体育館	平成22年2月	RC	1	1,285	新基準	平成21年度 新築								
滑川中学校	校舎棟	平成20年3月	RC	4	5,913	新基準	平成19年度 新築								
	西校舎棟	平成3年12月	RC	3	789	新基準	—	—	—	—	—	—			
	体育館	昭和46年3月	S	1	1,101	旧基準	改修済			19	0.92	2.44			
滑川幼稚園	園 舎	昭和59年2月	RC	2	1,338	新基準	—	—	—	—	—	—			

<用語の解説>

- 「構造」欄に「RC」とあるのは鉄筋コンクリート造を、「S」とあるのは鉄骨造をいいます。
- 「区分」欄に「旧基準」とあるのは新耐震基準施行(昭和56年)以前に建築されたものを、「新基準」とあるのは新耐震基準施行後に建築されたものをいいます。
- (1)「新基準」との表示のあるものは、耐震性がありますので、「区分」欄から右の各欄は、すべて「—」となっています。
 (2)「旧基準」との表示のあるもののうち、改修済みのものについては、「改修済」と記載した上で、「改修年度」及び「改修後」の「Is値」及び「q値」(後述)をそれぞれの欄に掲げてあります。
 (3)「旧基準」との表示のあるもののうち、未改修のものについては、「第2次診断」が実施されていますので、その欄にデータを掲げてあります。
- 「第2次診断」は、個別の建物の耐震性能を詳細に評価する診断方法です。
 「第2次診断」を実施した「年度」並びに「Is値」及び「q値」(後述)を、それぞれの欄に掲げてあります。
- (1)「Is」(構造耐震指標)は、建築物の耐震性能(地震に対する安全性)を数値化したもので、その値が大きいほど耐震性能が高いことを表します。
 国土交通省告示等によれば、第2次診断等により算定したIs値が0.6以上の場合には、耐震性がある建物ということによります。
 (2)「q」(保有水平耐力に係る指標)は、地震による水平方向の力に対して建物に対応する強さを表すもので、その値が大きいほどよく、1.0以上が目標値とされています。
- 「改装済」とあるのは、耐震改修工事に合わせて行われた、校舎の老朽化に伴う建物内外のリフォームのことです。